

2016年3月期第2四半期 決算説明会



写真 : Denyo United Machinery Pte Ltd (Singapore)

2015年11月19日

デンヨー株式会社

目 次

I . 2016年3月期第2四半期決算の概要

取締役常務執行役員管理部門長 白 鳥 昌 一

II . 2016年3月期通期の見通しと今後の経営方針

代表取締役社長 古 賀 繁

2016年3月期 第2四半期決算概要

2016年3月期第2四半期実績ハイライト(連結)

ポイント

前年同期比では売上等は下回るも、四半期純利益は上回る。

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期		前年同期比 増減率
売上高	24,281	100%	23,560	100%	△3.0%
営業利益	1,951	8.0%	1,743	7.4%	△10.7%
経常利益	2,123	8.7%	1,895	8.0%	△10.7%
四半期純利益	1,398	5.8%	1,414	6.0%	1.2%
設備投資	858		818		
減価償却費	480		598		
1株当り四半期純利益	65.00円		66.21円		
ROE	6.4%	年換算	6.0%	年換算	
1株当り中間配当金	12.0円		14.0円		

製品別売上高の動向(連結)

概況

1. 発電機は611百万円(3.4%)の減少。
2. 溶接機は269百万円(9.0%)の減少。
3. コンプレッサは24百万円(4.7%)の増加。

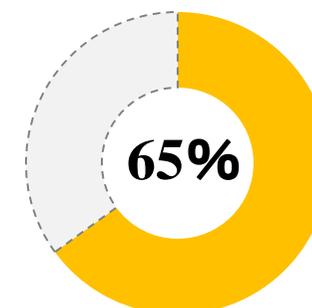
(単位:百万円)

		2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		24,281	100%	23,560	100%	△721	△3.0%
製品別	発電機	18,206	75.0%	17,595	74.7%	△611	△3.4%
	溶接機	3,000	12.4%	2,731	11.6%	△269	△9.0%
	コンプレッサ	515	2.1%	539	2.3%	24	4.7%
	その他	2,560	10.5%	2,693	11.4%	133	5.2%

エンジン発電機(連結)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
発電機	18,206 百万円	17,595 百万円	△3.4%

- 国内は、大手リース・レンタル会社向け出荷が減少。
- 海外は、アジア及び中近東市場向け出荷が増加。



可搬式エンジン発電機の国内シェア

※当社調べによる



可搬式発電機



防災用発電機

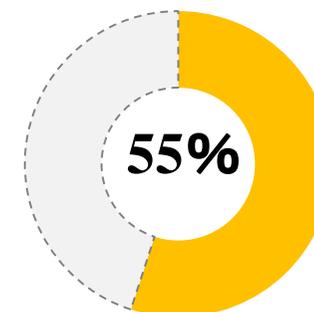
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬式発電機
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機（定置型）
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車、パワーライトなど

エンジン溶接機(連結)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
溶接機	3,000 百万円	2,731 百万円	△9.0%

- 国内は、前年同期並み。
- 海外は、欧州向けが減少。



エンジン溶接機の国内シェア

※当社調べによる



エンジン溶接機

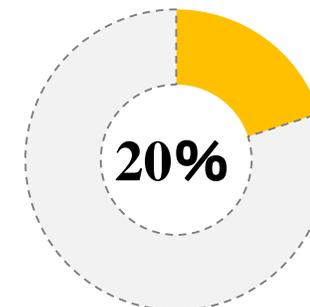
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、
およびTIG溶接機、CO2溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

エンジンコンプレッサ(連結)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
コンプレッサ	515 百万円	539 百万円	4.7 %

- 海外向けが若干増加。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる



エンジンコンプレッサ



モータコンプレッサ

吐出空気量1.6m³/minから42.4m³/minまで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など

そ の 他(連結)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
そ の 他	2,560 百万円	2,693 百万円	5.2 %

- 高所作業車、部品等の売上が増加。

その他の売上

- 高所作業車
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車

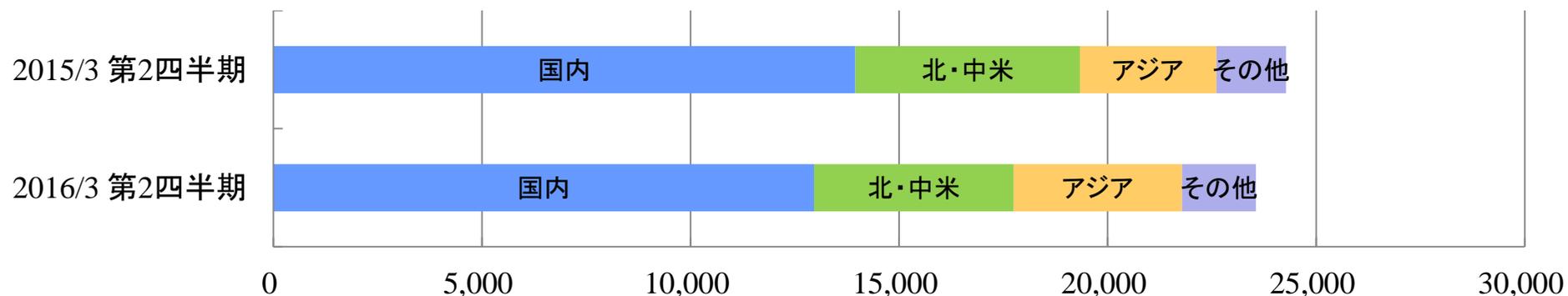


負荷試験装置

地域別売上高の動向(連結)

(単位:百万円)

		2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		24,281	100%	23,560	100%	△721	△3.0%
国内売上		13,951	57.5%	12,962	55.0%	△989	△7.1%
海外売上		10,330	42.5%	10,597	45.0%	267	2.6%
地域別	北・中米	5,388	22.2%	4,785	20.3%	△603	△11.2%
	アジア	3,270	13.5%	4,041	17.2%	771	23.6%
	その他	1,671	6.9%	1,771	7.5%	100	6.0%



営業利益増減の要因分析

営業利益減

- 減価償却費、人件費などの増加が影響。

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
営業利益	1,951	1,743	△208
営業利益率	8.0%	7.4%	△0.6ポイント

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上総利益率	23.9%	24.5%	0.6ポイント
売上高販管費比率	15.9%	17.1%	1.2ポイント
売上高営業利益率	8.0%	7.4%	△0.6ポイント

- 売上総利益率は、米国で高収益製品の出荷増や円安効果などで上昇。
- 売上高販管費比率は、減価償却費、人件費などの増加で上昇。

連結貸借対照表

概要

1. 流動資産 2,259百万円の減少は、主に売上債権の減少による。
2. 流動負債 3,179百万円の減少は、主に仕入債務の減少による。

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2015年3月期 期末	2016年3月期 第2四半期	前期末比 増減額
流動資産	38,129	40,856	38,597	△2,259
固定資産	24,875	26,468	25,219	△1,249
資産合計	63,004	67,324	63,817	△3,507
流動負債	12,257	13,396	10,217	△3,179
固定負債	4,918	4,732	4,165	△567
負債合計	17,176	18,128	14,382	△3,746
純資産合計	45,828	49,195	49,434	239
負債純資産合計	63,004	67,324	63,817	△3,507

連結キャッシュ・フローの推移

概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー1,506百万円は、売上債権の減少などによる。
2. 現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ368百万円増加。

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,347	1,506
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,254	△510
I + II フリー・キャッシュ・フロー	1,093	996
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,000	△652
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	25
V 現金及び現金同等物の増減額	16	368
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	9,848	11,144

2016年3月期通期の見通しと 今後の経営方針

2016年3月期予想～連結損益の見通し

ポイント

1. 売上高は、550億円を予想。
2. 為替レートは110円/ドルを想定。

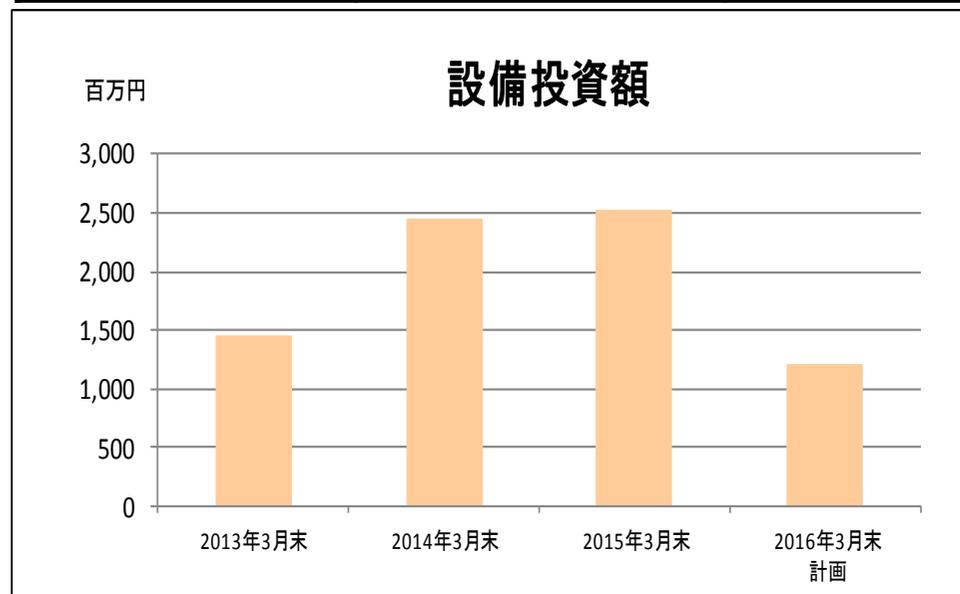
(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	52,267	100%	55,000	100%	2,733	5.2%
営業利益	5,348	10.2%	5,500	10.0%	152	2.8%
経常利益	5,757	11.0%	5,800	10.5%	43	0.7%
当期純利益	3,857	7.4%	3,600	6.5%	△ 257	△ 6.7%
設備投資	2,531		1,200		△ 1,331	△ 52.6%
減価償却費	999		1,300		301	30.1%
1株当り当期純利益	179.4円		168.5円		△ 10.9円	
R O E	8.6%		7.3%			
1株当り配当金	28.0円		28.0円			

設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末 計画
設備費	1,457	2,453	2,531	1,200
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・開発研修センター 814 ・福井機械等 150 ・アメリカ工場 237 ・ベトナム工場 127 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 480 ・西日本発電機 270 ・ベトナム工場 440 ・シンガポール 1100 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 440 ・西日本発電機 160 ・アメリカ工場 50 ・ベトナム工場 1630 ・シンガポール 180 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 450 ・西日本発電機 35 ・シンガポール 255 ・ベトナム 85 ・その他 375



デンヨーベトナム第2工場

製品別売上高の見通し(連結)

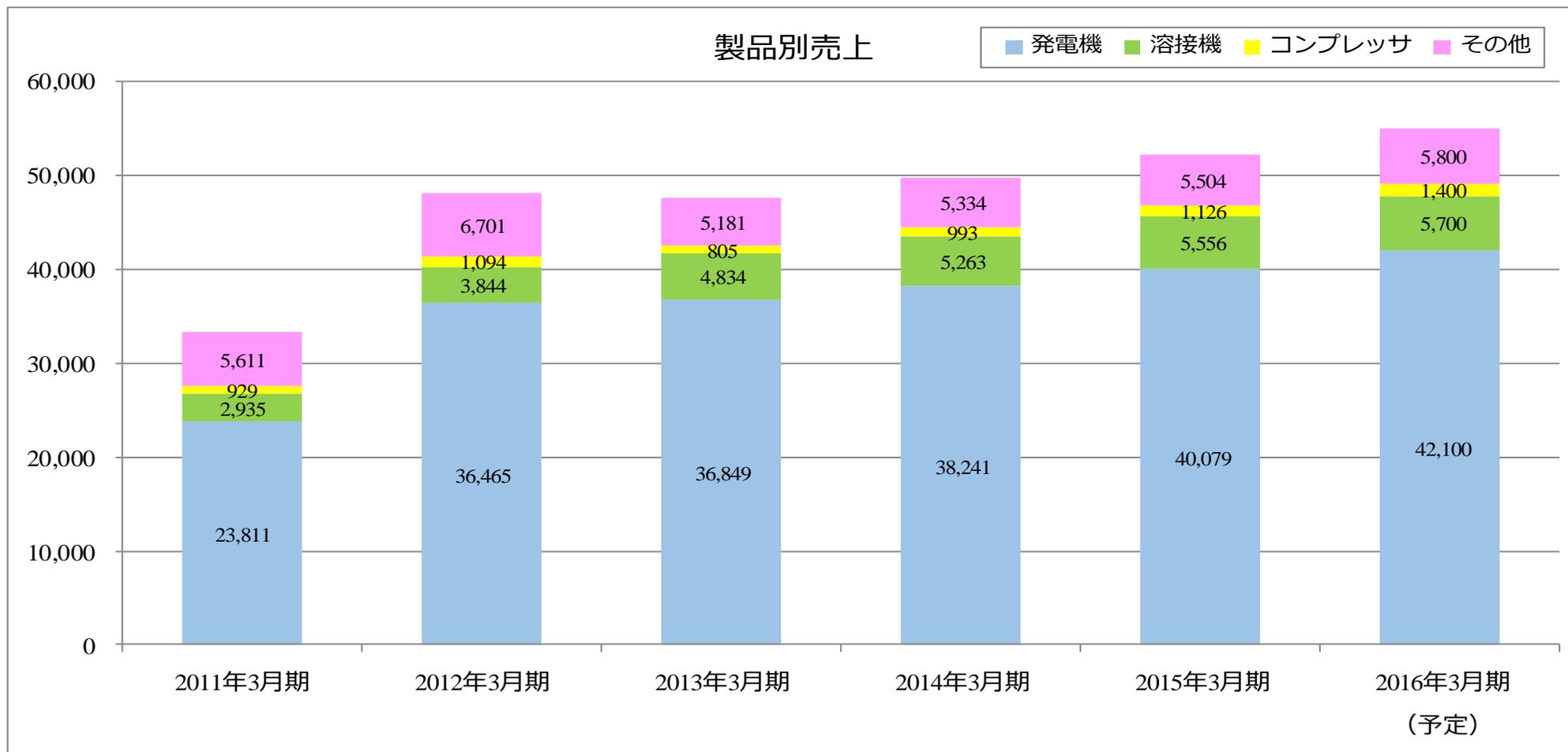
概況

1. 発電機は、2,021百万円(5.0%)の増加。
2. 溶接機は、144百万円(2.6%)の増加。
3. コンプレッサは、274百万円(24.3%)の増加。

(単位:百万円)

		2015年3月期		2016年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		52,267	100%	55,000	100%	2,733	5.2%
製品別	発電機	40,079	76.7%	42,100	76.5%	2,021	5.0%
	溶接機	5,556	10.6%	5,700	10.4%	144	2.6%
	コンプレッサ	1,126	2.2%	1,400	2.5%	274	24.3%
	その他	5,504	10.5%	5,800	10.5%	296	5.4%

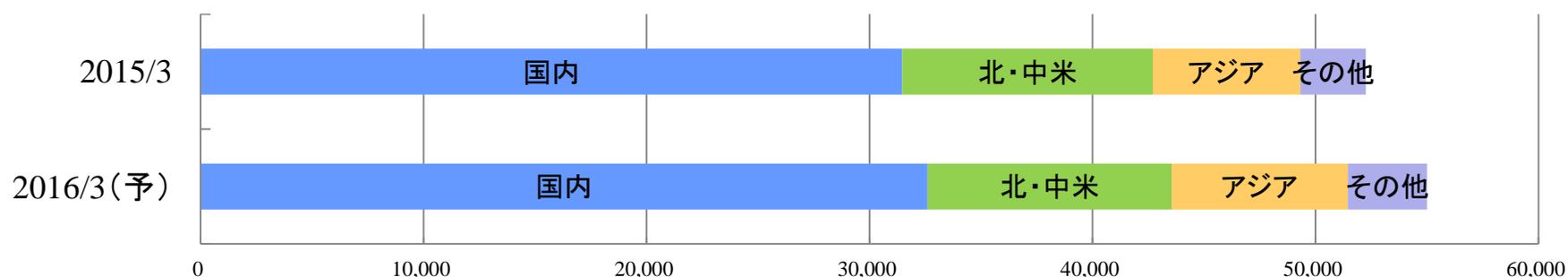
製品別推移と予想



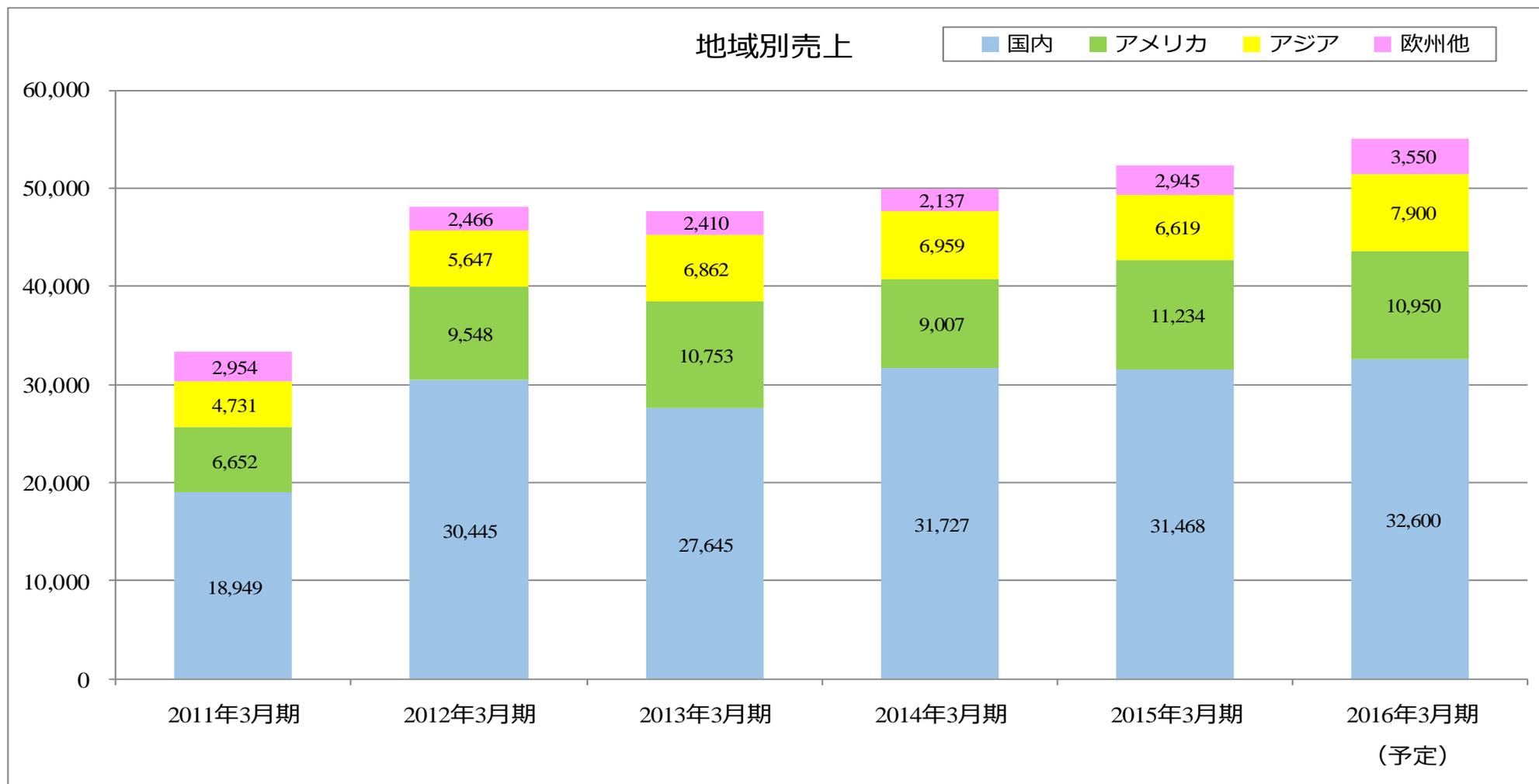
地域別売上高の見通し(連結)

(単位:百万円)

		2015年3月期		2016年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		52,267	100%	55,000	100%	2,733	5.2%
国内売上高		31,468	60.2%	32,600	59.3%	1,132	3.6%
海外売上高		20,799	39.8%	22,400	40.7%	1,601	7.7%
地域別	北・中米	11,234	21.5%	10,950	19.9%	△284	△2.5%
	アジア	6,619	12.7%	7,900	14.4%	1,281	19.4%
	その他	2,945	5.6%	3,550	6.5%	605	20.5%



地域別推移と予想



営業利益予想の内容

営業利益増

営業利益率は若干低下、営業利益は152百万円の増加と予想。

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期(予)	前期比
営業利益	5,348	5,500	152
営業利益率	10.2%	10.0%	△ 0.2ポイント

	2015年3月期	2016年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	25.1%	25.5%	0.4ポイント
売上高販管費比率	14.9%	15.5%	0.6ポイント
売上高営業利益率	10.2%	10.0%	△ 0.2ポイント

- 売上総利益率は国内及び米国の高収益製品の出荷増による改善を見込む。
- 売上高販管費比率は、減価償却費、人件費等の増加を見込む。

今後の経営方針

経営理念: パワーソースをテーマに安全性・経済性・環境性重視の製品造りに徹し、「**三者の得**」を追求。
(使う人、売る人、造る人が各々利益を享受すること。)



経営戦略:

- ①パワーソースのパイオニアとして、技術力と販売のネットワークを駆使し、高性能発電機マーケットのナンバーワンを目指す。
- ②発電機の周辺事業の拡充。
- ③新規関連事業への参入。

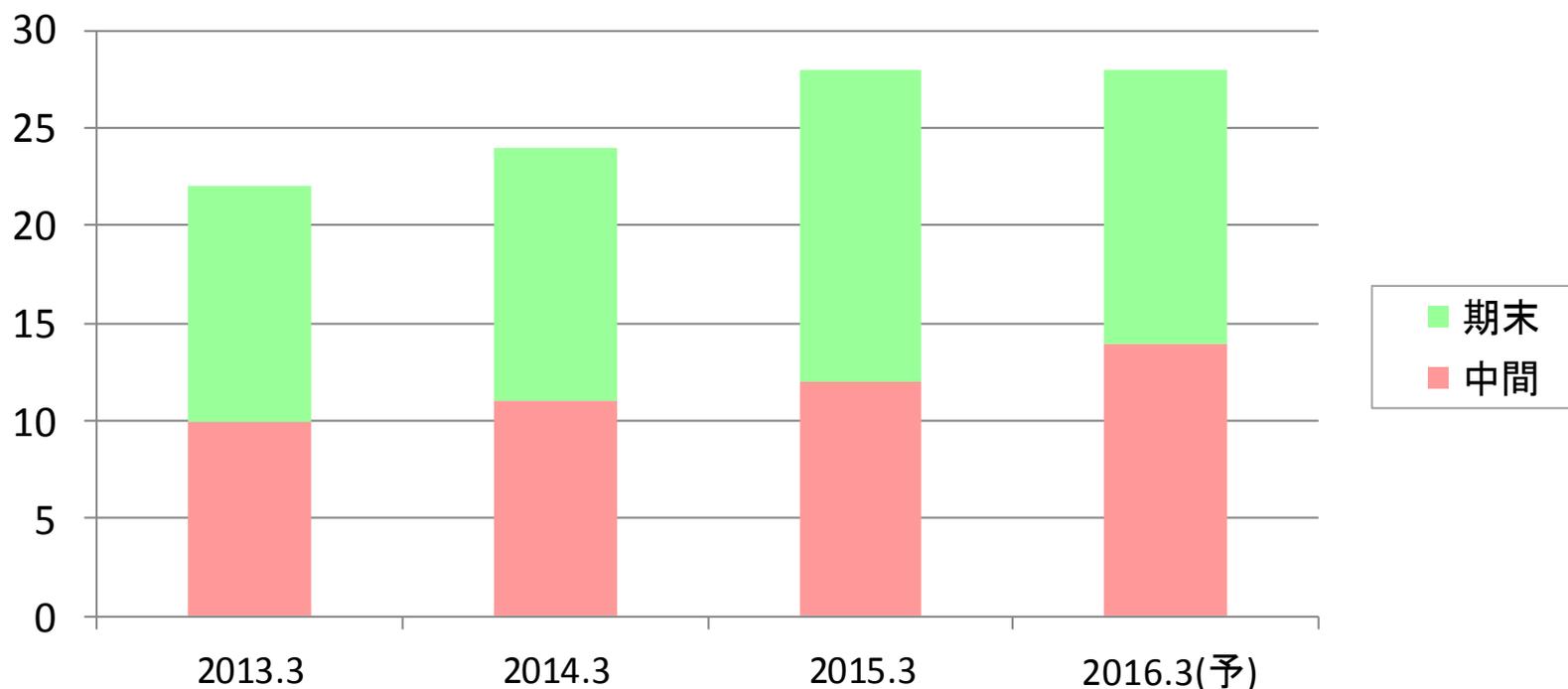
目標経営指標:

- ①ROE 8%以上 (2015.3期8.6%)
- ②売上高経常利益率 12%以上 (同 11.0%)

利益配分の方針

利益配分：収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元を充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 14年3月期 24円 ⇒ 15年3月期 28円 ⇒ 16年3月期 28円予想)



今後の事業戦略

ポイント

- ・ 建設関連以外の市場向け製品の拡充
- ・ 環境対応型製品の開発
- ・ 海外事業戦略の強化



エコベース発電機



防災用LEG発電機

建設関連以外の
市場向け製品の拡充



非常用発電機事業の拡充
電源車の拡販

環境対応型製品の開発



エコベース(環境保護ベース) 標準
装備の発電機・溶接機・コンプレッ
サをシリーズ化し、環境対応へ貢献

海外事業戦略の強化



- ・ アメリカ、アジア、欧州市場の
バランスの取れた販売
- ・ 旺盛なアジア市場に対応すべく
ベトナム工場での完成品製造を開始

見通しに関する注意事項

この資料には、2015年11月19日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当社のIRに関するお問い合わせ先

経営企画室 トザワ 兔澤・後藤

電話：03-6861-1178

FAX：03-6861-1185

參考資料

当社の概要

エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワーソースのトップメーカー

沿革： 昭和23年7月2日 「日本電気溶接機材株式会社」として設立
昭和34年 我が国初の高速エンジン溶接機を開発、発売
昭和36年 エンジン発電機の生産、販売開始
昭和41年 防音型開発
デンヨー株式会社に社名変更
昭和58年 東証二部上場
平成12年 東証一部上場

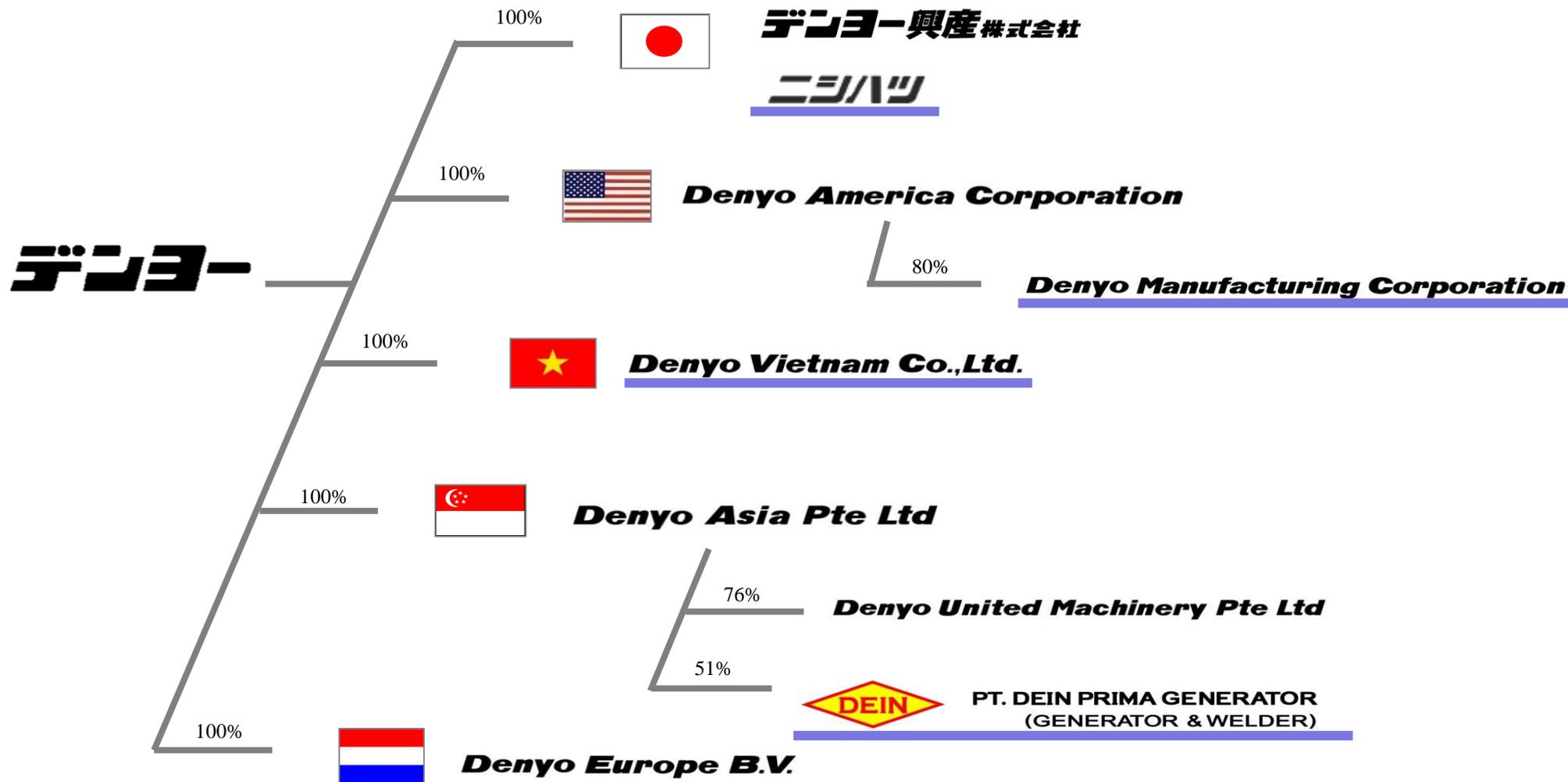
● 会社規模など（2015/3期・連結ベース）
(単位：百万円)

売上高	52,267
うち海外売上高	20,799
経常利益	5,757
当期純利益	3,857
総資産	67,324
純資産	49,195
時価総額（3/31時点）	41,010
従業員数	1,121人



本社（日本橋堀留町）

グループ会社



※1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販株」(出資比率15.7%)があります。
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

過去30年間の業績の推移

